

# 農 研 速 報

2021 年 10 月 4 日発行  
茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室  
〒301-0816 茨城県龍ヶ崎市大徳町 3974  
TEL: 0297-62-0206 FAX: 0297-64-0667

大豆の生育状況(9月24日現在、龍ヶ崎市)

地 域 名	生育ステージ		生育(作柄・品質)概況	備考
	本 年	対平成遅速		
茨 城 県 (龍ヶ崎市)	里のほほえみ 子実肥大期	2 日早い	<p>龍ヶ崎市における 8 月第 5 半旬～9 月第 4 半旬の気象および大豆の生育概況は、下記のとおりである。</p> <p>【気象】 気 温：平均気温は平年よりかなり低かった(平年差-1.6℃、図 1)。 降 水 量：平年比 87%と平年並であった(図 2)。 日照時間：平年比 95%と平年並であった(図 3)。</p> <p>【生育】 地上部生体重は「里のほほえみ」、「納豆小粒」とともに平年よりやや重かった。品種別の調査項目の平年値との比較は以下のとおり。</p> <p><u>里のほほえみ</u>：分枝数はかなり多く、主茎長はやや短く、主茎節数はかなり少なく、茎の太さは平年並で、地上部生体重はやや重かった(表 1)。一株莢数、一株莢重は平年並であった(表 1)。</p> <p><u>納豆小粒</u>：分枝数は多く、主茎長はやや短く、主茎節数はかなり少なく、茎の太さは平年並で、地上部生体重はやや重かった(表 1)。一株莢数はやや多く、一株莢重はやや重かった(表 1)。</p> <p>写真 1 に 9 月 24 日時点の所内大豆の生育状況を示した。</p> <p>【注釈】 1) 対平成遅速は開花期の本年値と平年値の差による。</p>	<p>●病虫害防除をこれまでに下記の通り実施した。</p> <p>・害虫防除： 7/14、8/3、8/11、8/26、9/8、9/13 ・紫斑病防除：8/26、9/8 ・その他病害防除：8/3、8/18、9/8</p> <p>○病虫害の情報や防除対策は、病虫害防除所のホームページを参照する。 ( <a href="http://www.pref.ibaraki.jp/nnouri/byobo/">http://www.pref.ibaraki.jp/nnouri/byobo/</a> )</p> <p>○適期収穫に努める。</p> <p>【コンバイン収穫の目安】</p> <p>・子実水分 18%以下 爪を立てると少し跡が残る</p> <p>・茎水分 50%以下 茎が手でポキッと折れる</p>
	納豆小粒 子実肥大期	3 日早い		

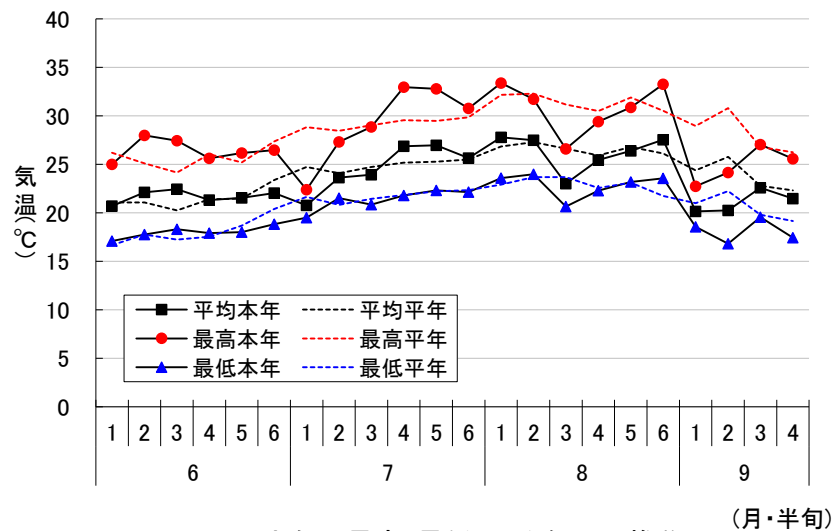


図1 半旬別最高・最低・平均気温の推移

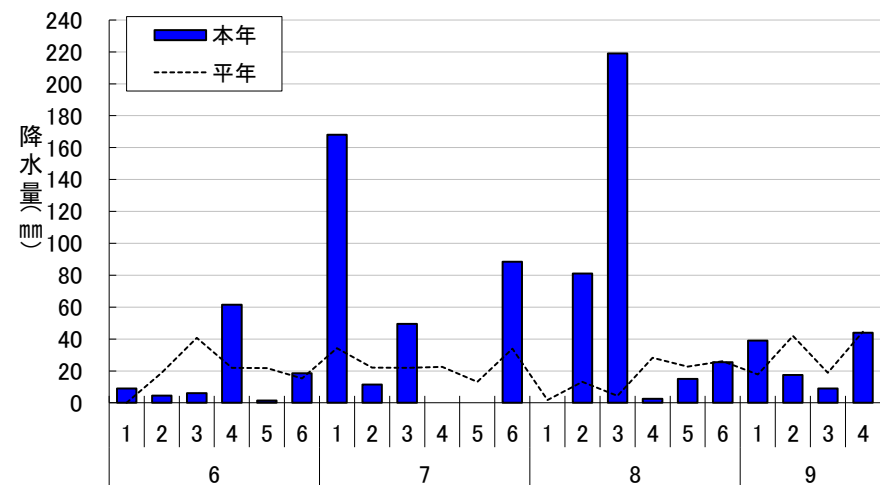


図2 半旬別降水量の推移 (月・半旬)

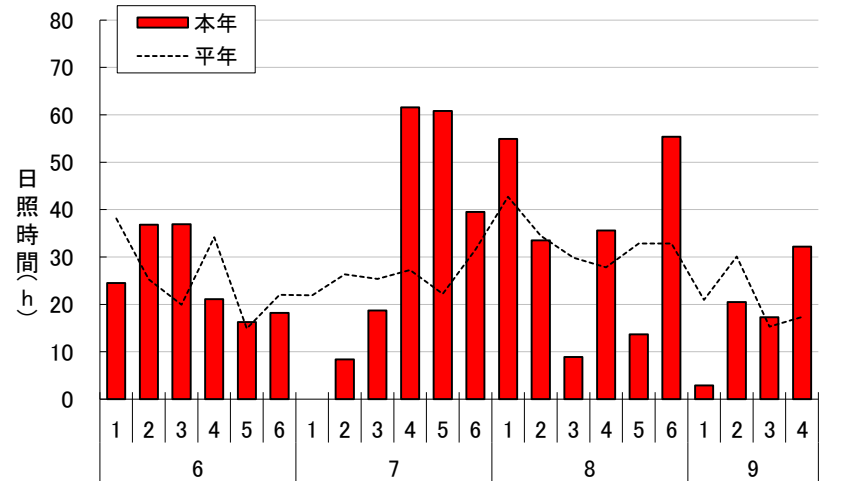


図3 半旬別日照時間の推移 (月・半旬)

表 1 輪換畑における大豆の生育（龍ヶ崎市，水田利用研究室）

品 種	開花期			主茎長			主茎節数			分枝数			茎の太さ		
	本年 (月日)	前年値 (月日)	平年値 (月日)	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (節)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (mm)	前年比 (%)	平年比 (%)
里のほほえみ	7.30	7.31	8.01	53.8	105	88	13.1	97	91	5.7	133	138	12.8	115	101
納豆小粒	8.05	8.09	8.08	61.6	103	78	15.0	95	87	11.0	105	132	10.8	107	97

品 種	地上部生体重			一株莢数			一株莢重		
	本年 (g/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (莢/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (g/株)	前年比 (%)	平年比 (%)
里のほほえみ	311.3	115	110	72.7	93	99	111.6	82	105
納豆小粒	357.0	119	115	227.8	91	108	121.2	124	126

【耕種概要】

- 1) 圃場来歴：転換1年目（前作水稻）
- 2) 播種期：6月18日
- 3) 播種密度：11.1株/㎡（畦間60cm，株間15cm）1本立て
- 4) 基肥：N-P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>-K<sub>2</sub>O＝0.3-1.2-1.2kg/a
- 5) 中耕・培土：7月19日、7月26日（それぞれ子葉節、初生葉節まで実施）

【注釈】

- 1) 生育調査は9月24日に実施
- 2) 茎の太さは子葉節と初生葉節の間で最も太い部分を測定
- 3) 地上部生体重は子葉節で切断した地上部の重さ

【平年値】

平成28年～令和2年播種の5ヵ年の平均値



写真 1 所内大豆の生育状況(9月24日撮影、左から里のほほえみ、納豆小粒)

気象概況および生育状況における表現について

平年値（過去5年間の平均値）との違いの程度を、「低い（少ない）」、「平年並」、「高い（多い）」等の階級区分で表しています。  
各階級の幅は、下図のように、統計期間における出現率が等分（それぞれ33%）となるように決めています。  
さらに、「低い（少ない）」、「高い（多い）」については、補足的表現として下図に示す出現率となるように「やや」、「かなり」と表しています。

